

ICAS 活動予定

◇第2回 サステナフォーラム◇

日時：7月9日(Wed)14:00～

場所：理学部1階インタビュースタジオ

テーマ：地域に根ざした環境共生社会と農業

ー アメリカでの環境保全型農業の展開から考える ー

お問い合わせは ICAS 事務局・植松まで

TEL&FAX:029-228-8787

m-uematsu@mx.ibaraki.ac.jp

◇ プログラム ◇

講演

(1)アメリカにおけるカバークロップ利用による環境保全型農業の展開

Upendra M. Sainju 博士 (アメリカ農務省 農業研究サービス)

(2)カリフォルニアにおける有機農業の展開とアグロエコロジー

村本穰司博士 (カリフォルニア大学サンタクルーズ校)

報告

カバークロップの利用と温暖化緩和の可能性

小松崎将一(茨城大学 ICAS)

総合討論

コンピーナ：太田寛行(茨城大学 ICAS)

☆ 「サステナビリティ学をつくる」が刊行！！ ☆

ICAS メンバーが一丸となって、サステナビリティ学の入門的な書籍を出版しました。総勢 29 名の執筆者が様々な角度からサステナビリティ学の構築に向けた議論を展開しています。

また、この「サステナビリティ学を“つくる”」という書名には、サステナビリティ学は専門家だけでなく、一般の方々と一緒に作り上げていきたいという願いが込められています。本文だけでなく、基本文献の紹介、用語解説などの付録も充実していますので、是非ともご一読ください。



三村信男・伊藤哲司・田村誠・佐藤嘉則編

「サステナビリティ学をつくる：持続可能な地球・人間・社会システムを目指して」新曜社。

2008年6月5日出版。定価：2900円+税。

ICAS/IR3S Calendar

4月	新年度スタート	9月	
	4/7～ ICAS 研究発表会・開始 毎週月曜日 14:00～ 4/17・18 IPCC-IR3S サイエンス・シンポジウム	10月	社会連携事業シンポジウム (水戸)
5月	5/19 第1回 ICAS サステナフォーラム	11月	11/1・2 第4回茨城大学国際学生会議
6月	6/4 第2回いばらき地域サステナワークショップ	12月	12/3～5 日本ベトナム・シンポジウム (ハノイ)
	6/14 第1回集中講義「サステナビリティ学入門」 6/28 第2回集中講義「サステナビリティ学入門」	1月	教育国際シンポジウム IR3S 公開シンポジウム
7月	7/9 第2回 ICAS サステナフォーラム	2月	アジア・メガデルタ・シンポジウム “Cities at Risk” (バンコク)
	7/12 第3回集中講義「サステナビリティ学入門」	3月	3/2～4 IR3S 共通コア科目「サステナビリティ学最前線」
8月	8/9～22 IPoS2008 開催 (タイ)		

*網掛けは継続される企画です

ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで

icas@mx.ibaraki.ac.jp

ICAS 活動報告

◆平成 20 年度 第 1 回サステナフォーラム◆

5月19日(月)に、水戸キャンパスの茨苑会館2階の集会室で、第1回サステナフォーラムが開催されました。講師には、マサチューセッツ工科大学(MIT)のジェフェリー・スタインフェルド教授を迎え、世界のエネルギーシステムを改善させるためのMITの教育取り組みなどが紹介されました。



◆いばらき地域サステナワークショップ◆

第2回いばらき地域サステナワークショップが6月4日に理学部1階インタビュースタジオにて開催されました。第1回目開催の盛況ぶりは大きく、今回も学内外から多くの参加者が集まりました。



今回のワークショップでは、各団の活動報告に加えて、茨城地域に根ざした環境戦略のあり方とその具体化に向けた議論が行われました。その結果、各団体間の情報共有ネットワークを構築し茨城県内の地域連携の強化を図るべく、学外協力者も含めた交流部会が結成されるに至りました。

☆集中講義「サステナビリティ学入門」開講中!! ☆

6/12・28、7/14 8:50~17:50

@ 水戸キャンパス共通教育棟 10 番教室

今年で3回目となる「サステナビリティ学入門」が開講しました。学生190名、学外から11名、合計201名が受講しています。異なる専門分野の教員による70分の講義5コマのうち、最後の1コマには講師全員が一堂に会するパネルディスカッションが行われています。



初日には「温暖化は本当か?」、「ICASのメンバーになるには?」などの質問がありました。さらに、「サステナビリティ学をつくる」が出版されたことで、予習・復習の効果も一層上がることが期待されます。サステナビリティとは何か、一緒に考えていきましょう。

◇ 最近、ICASの研究はどうなっているの? ◇

各キャンパスの研究者が、環境経済学や微生物学、都市システム工学など、各自の専門分野から気候変動への「適応」のための研究を進めています。

しかし、そもそも、この「適応」という概念はまだ不明瞭であるため、ICASではこれを定義し、計測できるようにすることを検討しています。分野横断的なICASの強みを活かしながら、どのような形で独自性のある「適応」研究を進めていくか、というのが現在の課題です。

研究報告や話し合いは、毎週月曜日の午後2時からICAS本部で行われています。興味がある先生や院生、話し合いに参加してみませんか?



ICASメンバー紹介

長谷川 良二

(はせがわ りょうじ)

ICAS 特任研究員
おとめ座・A型

今年4月よりICAS特任研究員に着任しました。出身は大阪でこれまでずっと関西で暮らしてきました。初めての関東(茨城)の生活や茨城弁にも大分慣れてきた今日この頃です。私の専門分野は主に環境経済学や地域経済学で、ICASでは主に地域のサステナビリティに関する研究に取り組んでいます。これからどんどん茨城地域のことを公私両面から知り尽くしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ICAS on MEDIA

6月7日(土)NHK 総合特別番組
科学ライブ「温暖化・あなたのギモンに答えます」
三村信男 ICAS 機関長生出演!!

==== 茨城新聞好評連載中 ====
6月24日(火)からは洞爺湖サミットシリーズです。

Editor's Note

あっという間に梅雨の季節を迎えました。ICAS主催の、サステナフォーラム、地域サステナワークショップなども好評で、多くの問い合わせをいただくようになりました。少しでも多くの方にICAS Newsを読んでいただきたいとおもいます。よりよいICAS Newsをつくるために感想・ご意見など、どんどんお寄せ下さい。